

共同利用・ 共同研究拠点名	超高齢化社会に対応する先制医療工学研究拠点
大学等名 (研究施設名)	北九州市立大学 (環境技術研究所先制医療工学研究センター、計測・分析センター)
評価区分 (中間評価結果)	B
評価コメント	<p>本拠点は、情報処理やバイオマテリアルに関するノウハウとナノメディシンの解析装置群を広く全国の研究者に公開し共同研究を進め、同分野の研究者コミュニティの中心拠点となることを目的として活動を実施している。共同利用・共同研究拠点としての活動は行われているものの、低調であると判断される。</p> <p>具体的には、地域の大学や企業との連携を進めつつ、ナノ粒子の解析、バイオ画像処理、医師等への講習会など共同利用・共同研究を進めるための取組が行われているが、運営委員会の体制や開催状況など運営体制について改善が必要であるとともに、共同研究の件数や研究設備の学外利用者数の実績を踏まえると、当該コミュニティの全国的な中核拠点としての機能を果たしているとは言えない。</p> <p>特に、運営委員会については、提出された中間評価用調書において、委員構成が当該申請施設を置く大学の職員は二分の一以下とする認定基準（共同利用・共同研究拠点及び国際共同利用・共同研究拠点の認定等に関する規程第3条第1項第3号）を満たしておらず、加えて同委員会が令和5年度に一度も開催されていない状況が見られる。研究者コミュニティの意向を運営に反映するため、外部の研究者に開かれた運営体制を整備することが必要であり、早急な改善が必要である。</p> <p>今後は、これらの事項に対する改善を図り、共同利用・共同研究拠点としての研究活動を強化していくことが求められる。</p>